



中央区環境保全ネットワーク



2018 環境まつり 会場の様子 体育館



2018 環境まつり 子どもサポーター集合写真



2018 環境まつり 出展ブース

具体的な取組等（活動の詳細等）

- 年1回区内小学校を会場に、「子どもとためず環境まつり」を開催（通算15回）
- 「サーモンプロジェクト」として、環境まつりを手伝う子どもサポーターを募集。子どもたちが地域の大人と一緒に環境情報の発信に取り組み、環境について学ぶ場を提供（通算11回）。併せて2013年より東京五輪向け「2020年へのメッセージ」を来場者より募っている。
- 「中央区育ちの子どもたちがサーモンのように再び地元へ戻り活躍を」との願いを込め「サーモンプロジェクト」とネーミング
- 日々の生活の中から中央区の環境を考えるきっかけとなるよう、打ち水による気温低下を子どもたちや区民に実感してもらう「桜川打ち水大作戦」を実施
- 地球温暖化対策事業「中央区の森（檜原村）」での森林保全活動、浜離宮恩賜庭園でのクリーンエイド活動、野鳥観察会、見学会・研修会等を定期的実施している

- 設立年：2002年
- 所在地：中央区
- 活動年数：16年
- 事業概要：持続可能な社会の実現を目指す中央区内の個人、団体、企業、行政等とネットワークを持ち、より良い地球環境を次世代に残す。

取組の概要

子どもや地域住民を対象に、体験型環境学習イベント「子どもとためず環境まつり」を開催

- 3R（リデュース・リユース・リサイクル）をはじめとする環境保全活動の理解浸透を目指す取組
- 地域住民、企業、団体、行政、学校が協働連携して体験型環境学習ブースを出展
- ブース出展者を手伝う子どもたちを募集し、活動を通じて環境への気づきを得られる「サーモンプロジェクト」を実施

取組の効果

- 「子どもとためず環境まつり」は各小学校が出展団体として参加し、学校ぐるみの取組が定着し、保護者の理解も広まるなど全区的な取組として展開している。
- 出展団体と子どもたちの世代間交流が、中央区の次世代育成にもつながる取組となっている。
- サーモンプロジェクトのスタートから10年以上が経ち、小学校を卒業したかつての子どもサポーターが中学生スタッフとして準備段階から参加する等地域に根付いてきている。